

第2回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会

日時：令和5年10月23日

18時～19時30分

会場：長野合同庁舎

5階会議室

次第

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

(1) 第1回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 講演 「単位制・定時制・通信制の魅力について」

講師 福岡県立博多青松高等学校長 工藤 宏敏 先生

(3) 質疑応答

4 その他

次回の予定

【日時】 令和5年12月19日（火）18時～19時30分

【場所】 未定

【内容】 再編対象校の特徴的な学びの紹介 等

5 閉 会

長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

(敬称略)

	区分	氏名	所属等	役職等
1	自治体	西澤 雅樹	長野市	副市長
2		丸山 陽一	長野市教育委員会	教育長
3	産業界	塚田 まゆり	長野商工会議所	副会頭
4	学識経験者	茅野 理恵	信州大学学術研究院教育学系心理支援教育グループ	准教授
5		小林 勝彦	長野県専修学校各種学校連合会	理事長
6	地域	尾島 信久	長野地域振興局	局長
7		堀江 三定	長野市スポーツ協会	理事長
8		伊藤 羊子	一般財団法人長野県文化振興事業団 芸術文化推進室	室長
9		戸井田 由奈	特定非営利活動法人長野県NPOセンター	コーディネーター
10	同窓会 振興会	西澤 敏	長野東高等学校同窓会	会長
11		和田 安雄	長野吉田高等学校戸隠分校同窓会	会長
12		鷲澤 幸一	長野高等学校定時制振興会	会長
13		塚田 篤雄	長野商業高等学校定時制振興会	会長
14		岡 正子	長野西高等学校通信制振興会	会長
15	PTA	宮下 匡弘	長野東高校PTA	会長
16		小林 優	長野市PTA連合会(小学校)	副会長
17		江口 康人	長野市PTA連合会(中学校)	副会長
18	小中学校等 関係者	小池 勲	長野市小学校長会(長水地区小学校長会)	幹事長
19		横澤 秀信	長野市中学校長会(長水地区中学校長会)	会長
20		藤澤 里美	長野養護学校	校長
21		平林 洋一	県立高等学校長会定通部会長(松本筑摩高等学校校長)	会長
22	再編対象校	宮崎 真以星	長野東高等学校	生徒会長
23		桑原 俊樹		校長
24		柳澤 秀樹		教諭
25		町田 夢	長野吉田高等学校戸隠分校	生徒会長
26		倉島 在音		副会長
27		内藤 信一		校長
28		丸山 淳一		教諭
29		小出 淳	長野高等学校定時制	生徒代表
30		廣田 昌彦		校長
31		山本 俊介		教諭
32		中澤 由希	長野商業高等学校定時制	生徒会長
33		宮澤 美咲		生徒会副会長
34		三澤 秀樹		校長
35		寺嶋 龍也		教諭
36		白石 芽生	長野西高等学校通信制	生徒代表
37		小金 典子		校長
38	野村 浩史	教諭		

【事務局】

学校名	氏名(役職等)
長野東高校	(教頭) 峯村 勲 (教諭) 柳澤 秀樹・伊藤 宏文・栗原 聡・齋藤 正善
長野吉田高等学校戸隠分校	(教頭) 小林 昌明 (教諭) 丸山 淳一
長野高等学校 定時制	(教頭) 功刀 裕 (教諭) 北島 匡晃・山本 俊介
長野商業高等学校 定時制	(教頭) 塩入 孝一 (教諭) 寺嶋 龍也
長野西高等学校 通信制	(教頭) 青木 裕士 (教諭) 傳田 伊史・野村 浩史

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	柳澤 弘蔵	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	内山みのり	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	山崎 巖	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事

第2回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会 座席表

講師

座長

スクリーン

司会

(敬称略)

<p>7 堀江 三定 長野市スポーツ協会 理事長</p> <p>8 伊藤 羊子 (一財)長野県文化振興事業団 芸術文化推進室長</p> <p>9 戸井田 由奈 長野県NPOセンター コーディネーター</p> <p>10 西澤 敏 長野東高等学校 同窓会長</p> <p>11 和田 安雄 長野吉田高等学校戸隠分校 同窓会長</p> <p>12 鷲澤 幸一 長野高等学校定時制 振興会長</p>	<p>1 西澤 雅樹 長野市 副市長</p> <p>2 丸山 陽一 長野市教育委員会 教育長</p> <p>3 塚田 まゆり 長野商工会議所 副会頭</p> <p>4 茅野 理恵 信州大学学術研究院 教育学系准教授</p> <p>5 小林 勝彦 長野県専修学校各種学校連合会 理事長</p> <p>6 尾島 信久 長野地域振興局 局長</p>	<p>13 塚田 篤雄 長野商業高等学校定時制 振興会長</p> <p>14 岡 正子 長野西高等学校通信制 振興会長</p> <p>15 宮下 匡弘 長野東高等学校 PTA会長</p> <p>16 小林 優 長野市PTA連合会(小学校) 副会長</p> <p>17 江口 康人 長野市PTA連合会(中学校) 副会長</p> <p>18 小池 勲 長野市小学校長会 幹事長</p>	<p>19 横澤 秀信 長野市中学校長会 会長</p> <p>20 藤澤 里美 長野養護学校 校長</p> <p>21 平林 洋一 県立高等学校長会 定通部会長</p> <p>23 桑原 俊樹 長野東高等学校 校長</p> <p>27 内藤 信一 長野吉田高等学校戸隠分校 校長</p> <p>30 廣田 昌彦 長野高等学校定時制 校長</p>	<p>宮澤直哉 室長</p> <p>柳澤 弘哉 主幹指導主事</p> <p>内山 みのり 主任指導主事</p> <p>山崎 巖 主任指導主事</p> <p>池田 悠記 担当係長</p>	<p>高校教育課 高校再編推進室</p>	<p>入口</p>				
事務局		<p>28 丸山 淳一 長野吉田高等学校戸隠分校 教諭</p> <p>38 野村 浩史 長野西高等学校通信制 教諭</p>	<p>26 倉島 在音 長野吉田高等学校戸隠分校 生徒代表</p> <p>36 白石 芽生 長野西高等学校通信制 生徒代表</p>	<p>25 町田 夢 長野吉田高等学校戸隠分校 生徒代表</p> <p>35 寺嶋 龍也 長野商業高等学校定時制 教諭</p>	<p>24 柳澤 秀樹 長野東高等学校 教諭</p> <p>33 宮澤 美咲 長野商業高等学校定時制 生徒代表</p>	<p>22 宮崎 真以星 長野東高等学校 生徒代表</p> <p>32 中澤 由希 長野商業高等学校定時制 生徒代表</p>	<p>37 小金 典子 長野西高等学校通信制 校長</p> <p>31 山本 俊介 長野高等学校定時制 教諭</p>	<p>34 三澤 秀樹 長野商業高等学校定時制 校長</p> <p>29 小出 淳 長野高等学校定時制 生徒代表</p>	<p>【事務局長】峯村 勲 長野東高等学校 教頭</p> <p>【副事務局長】小林昌明 長野吉田高等学校戸隠分校 教頭</p>	<p>事務局</p>
傍聴席						報道				

第1回 長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和5年9月12日(火) 18時00分～19時30分		
場所	長野県長野高等学校 会議室		
出席 (敬称略)	西澤雅樹, 丸山陽一, 塚田まゆり, 茅野理恵, 小林勝彦, 尾島信久, 堀江三定, 伊藤羊子, 戸井田由奈, 西澤敏, 鷺澤幸一, 塚田篤雄, 岡正子, 宮下匡弘, 小林優, 江口康人, 小池勲, 横澤秀信, 藤澤里美, 平林洋一, 池田唯人, 桑原俊樹, 柳澤秀樹, 町田夢, 倉島在音, 内藤信一, 丸山淳一, 小出淳, 廣田昌彦, 山本俊介, 三澤秀樹, 寺嶋龍也, 小金典子, 野村浩史 (以上34名)		
欠席 (敬称略)	和田安雄, 浅田響, 白石芽生 (以上3名)	傍聴者	10名
事務局	長野東高校	峯村教頭(事務局長), 柳澤教諭, 伊藤教諭, 栗原教諭, 齋藤教諭	
	長野吉田高校戸隠分校	小林教頭(副事務局長), 丸山教諭	
	長野高校定時制	功刀教頭, 北島教諭, 山本教諭	
	長野商業高校定時制	塩入教頭, 寺嶋教諭	
	長野西高校通信制	青木教頭, 傳田教諭, 野村教諭	
	県教育委員会	宮澤高校再編推進室長, 柳澤主幹指導主事, 池田担当係長, 山崎主任指導主事, 内山主任指導	
当日資料	次第, 構成員名簿, 席図, 開催要綱, 今後のスケジュール(案), 再編・整備計画【三次】説明資料等		

会議事項

- (1) 座長選出 ◎茅野理恵構成員を座長に選出
- (2) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」(県教委より説明)
 - ① 「実施方針について」
 - ② 「再編・整備計画【三次】」
 - ③ 長野東スーパーフレックス新校の学校像(例)
- (3) 質疑応答及び意見交換

構成員から出された主な質問・意見(要旨) (→県教委回答)

- ・統合にあたり、長野東高校を母体とした理由は何か。
→多部制単位制通信制の新たな高校を作るには長野市内が適切と判断し、周辺環境や体育施設等の活用が可能であり、同窓会等の一定の理解がえられたため。
- ・長野工業高校定時制を普通科の定時制として存続させる意図は何か。
→新校の普通科とは別に、専門学科の施設を活用した学びを求める生徒に門戸を開くため。
- ・普通科だが、資格取得や専門校が行っていたような授業開設が可能か。
→既に県内各校で展開している。現行制度と照合し、望ましいものならば取り入れたい。
- ・多部制・単位制高校のデメリットや課題は何か。
→教員の確保は大きな課題と認識している。多様な生徒の入学が予想され、卒業後、どのような生き方をしていくのかも重要な課題である。皆様と一緒に考えていきたい。
- ・在籍月数36ヵ月は満たされなければ卒業できないのか。また、1年間での取得単位数の上限はあるのか。
→一定の制約は当然あると推測される。
- ・教科内容が今後、深まっていくことが実際に学ぶ生徒の一番の関心事。その点も一緒に深めたい。
- ・9月からの留学が可能になれば、海外へスポーツ留学を考える生徒もいる。ぜひ、詰めてもらいたい。
- ・生徒の目線などが反映されているのか。学校から離れていった生徒をどう救済するのか難しくなってくるのではないか。選択が自由になればなるほど、選択を高校生に託すのはリスクだと考える。普通科など通り一遍の名前を簡単に出してしまうとキャリア教育の意義が薄れてくると思われる。

その他

【次回】

日時：令和5年10月23日(月) 18時～19時30分
 会場：長野合同庁舎5階 会議室
 内容：講演(福岡県立博多青松高等学校校長 工藤 宏敏 氏)

第2回 長野東スーパーフレックス新校 再編実施計画懇話会



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

日時 2023年（令和5年）10月23日18:00～
場所 長野合同庁舎 5階会議室

1

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 会議事項
 - (1) 第1回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会
まとめ
 - (2) 講演「単位制・定時制・通信制の魅力について」
 - (3) 質疑応答
- 4 その他
- 5 閉 会



2

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨拶



3

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

3 会議事項

(1) 第1回長野東スーパーフレックス新校
再編実施計画懇話会まとめ

(2) 講演「単位制・定時制・通信制の魅力について」
福岡県博多青松高等学校長 工藤 宏敏 先生

(3) 質疑応答



4

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

3 会議事項

(1) 第1回長野東スーパーフレックス新校 再編実施計画懇話会まとめ



5

第1回懇話会で出された質問・意見 No. 1

ご質問

- 長野東高校を母体とした理由は何か。
- 長野工業高校定時制を普通科として存続させる意図は何か。
- 普通科ではあるが、資格取得や専門校が行っていたような授業開設は可能か。
- 在籍月数36カ月は満たさなければ卒業できないのか。また、1年間での取得単位数の上限はあるのか。
- 多部制単位制高校のデメリットや課題は何か。



6

第1回懇話会で出された質問・意見 No.2

ご意見

- 教科内容が今後深まっていくことが、実際に学ぶ生徒の一番の関心事なので一緒に深めたい。
- 9月からの留学が可能になれば、留学を考える生徒もいる。ぜひ、詰めていってほしい。
- 選択が自由になればなるほど、選択を高校生に託すことになるのはリスクだと考える。
- 普通科などの通り一遍の名前は、キャリア教育の意義が薄れてくると思われる。



7

◆長野スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

3 会議事項

（2）講演「単位制・定時制・通信制の魅力について」

福岡県立博多青松高等学校長 工藤 宏敏 先生



8

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

講師紹介

福岡県立博多青松高等学校高等学校
校長 工藤 宏敏 先生

平成5年 福岡県に高等学校理科（専門は物理）の教諭として採用
高等学校普通科に勤務
平成26年 福岡県教育庁教育振興部高校教育課 指導主事
平成30年 高等学校普通科 教頭
令和2年 福岡県教育庁教育振興部高校教育課 主任指導主事
令和4年 福岡県立博多青松高等学校 校長



9

◆長野スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

3 会議事項

(3) 質疑応答



10

◆長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施計画懇話会

4 その他

【次回の予定】

- ◆日時：令和5年12月19日（火）18:00～19:30
- ◆会場：未定
- ◆内容：再編対象校の特徴的な学びの紹介 等

5 閉会



長野県スーパーフレックス新校再編実施計画 懇話会



博多青松高校
公式キャラクター
「アオマツくん」

単位制 多部制 の魅力について 通信制

とデメリット

福岡県立博多青松高等学校の事例

校長 工藤 宏敏

令和5年10月23日（月）

1



福岡県の県立高校について

県立高校：94校

■ 定時制・単位制：4校

- 博多青松高校（福岡地区）平成9年開校
- ひびき高校（北九州地区）平成15年開校
- 大牟田北高校（筑後地区）令和3年開校
- 西田川高校（筑豊地区）令和3年開校

■ 通信制・単位制：1校

- 博多青松高校 平成9年開校（設置校の変更）

※ 夜間定時制：17校

※ 昼間定時制：1校

1

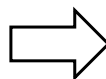


2



博多青松高等学校の起源

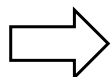
平成8年11月1日：開校準備室を設置
平成9年2月24日：校舎竣工



平成9年4月1日：開校

定時制課程

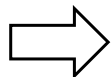
- ・福岡高等学校 夜間定時制
- ・修猷館高等学校 夜間定時制
- ・筑紫丘高等学校 夜間定時制



- ・博多青松高等学校 定時制
3部制
単位制

通信制課程

- ・修猷館高等学校 通信制



- ・博多青松高等学校 通信制



3



博多青松高等学校の特徴①

福岡県の単位制高校のパイオニア的学校

3部制の定時制課程と通信制課程からなる

単位制高校

定時制課程（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ部）
普通科・情報科学科
登校して学習するスタイル



通信制課程 普通科
レポート・スクーリング・
テストで学習するスタイル

所在地：福岡市博多区千代一丁目2番21号
県庁から一番近い県立学校/博多駅徒歩圏内/福岡市地下鉄駅徒歩圏内



4



単位制の特徴 学年制との違い



単位制

- ・ 修業年限：個人で決定（3年以上）
- ・ 週当たりの時間数：個人で決定
- ・ 科目選択：個人で決定



定時制：平日登校して学習



通信制：主に自宅学習
学校に出てくるのは
土・日のスクーリング（毎週ではない）



学年制

- ・ 修業年限：3年/4年
- ・ 週当たりの時間数：一律
- ・ 科目選択：一部個人



全日制/定時制

4



5



博多青松高等学校の特徴②

1. 修業年限は3年以上
2. 前期・後期の2学期制
3. 学期ごとに単位認定
4. 前期（9月）卒業も可能
5. 個人の時間割にあわせて登校
6. 授業は選択した科目ごとの教室で受講
7. 学校行事（球文大会・青松祭・大運動会）はエントリー制

5



6



博多青松高等学校の特徴③

☆ 博多青松アイデンティティ ☆

「社会のルールが博多青松のルール」
「博多青松の自由は学びのための自由」

服装の規定など、いわゆる「校則」は
存在しない。

※ここでPRビデオを流す。



7



定時制課程
の
状況

8



多様な生徒が入学

令和5年度入学生

- ◇ 中学校卒業見込 75%
- ◇ 中学校既卒者 8%
- ◇ 転・編入学者 17%
- ◆ 科目履修生 12名
- ◆ 通定併修性 8名



9



多様な生徒が在籍（十人十色）

令和5年5月1日現在

- ◇ **在籍者数 990名**
 I部：338名／II部：349名／III部：303名
 普通科：642名 / 情報科学科：348名
 男子：437名 / 女子：553名
- ◇ **年齢の幅 15歳～62歳**
 平均年齢：16.6歳
- ◇ **有職者の割合 全体の8%程度**



10



入学者選抜の区分

定時制課程	資格区分	4月 前期入学			10月 後期入学	
		I期入試	II期入試	転・編入試	入学試験	転・編入試
高校の単位なし	卒業見込 (中学3年)	作文 + 面接	学力 検査 + 面接			
	既卒 (中学卒業)					
高校の単位あり	編入学			学力 検査 + 面接		学力 検査 + 面接
	転入学					



11



募集人数

定時制		前 期			後 期		合計
		I期	II期	転・編	入学	転・編	
I部	普通	27	30	15	4	4	80
	情報	20	15	2	2	1	40
	合計	47	45	17	6	5	120
II部	普通	27	30	15	4	4	80
	情報	20	15	2	2	1	40
	合計	47	45	17	6	5	120
III部	普通	27	30	15	4	4	80
	情報	20	15	2	2	1	40
	合計	47	45	17	6	5	120
合計	普通	81	90	45	12	12	240
	情報	60	45	6	6	3	120
	合計	141	135	51	18	15	360



12



入学志願状況

	(前)Ⅰ期	(前)Ⅱ期	(前)転・編	(後)入学	(後)転・編
令和 3 年度	1.98倍	1.02倍	0.78倍	0.83倍	2.33倍
令和 4 年度	2.49倍	1.59倍	0.98倍	1.39倍	1.13倍
令和 5 年度	2.55倍	1.43倍	1.02倍	0.89倍	1.27倍



13



授業時制

Ⅰ部	1・2 時限目	9:00～10:30
	3・4 時限目	10:45～12:15
Ⅱ部	5・6 時限目	13:20～14:50
	7・8 時限目	15:05～16:35
Ⅲ部	9・10 時限目	17:35～19:05
	11・12 時限目	19:30～21:00

50%ルール
自分の所属する部の時間帯で50%以上の科目を受講する。



14



50%ルールとは



13

情報科学科 II 部生 の時間割

	月	火	水	木	金
1-2					
3-4					
5-6	電子 情報		世史 A	HR 総探	体育 D
7-8	簿記	情報 処理	家庭 基礎	簿記	情報 処理
9-10	国語 総合	数 I	物理 基礎	国語 総合	数 I
11-12		コ英 I		美術 I	コ英 I

情報科学科 III 部生 の時間割

	月	火	水	木	金
1-2					
3-4					
5-6			世史 A	国語 総合	体育 D
7-8	簿記	情報 処理	家庭 基礎	簿記	情報 処理
9-10	国語 総合	数 I	物理 基礎	HR 総探	数 I
11-12	電子 情報	コ英 I		美術 I	コ英 I

15



高大連携事業① 連携校

【連携している大学】

- ・ 福岡教育大学
- ・ 福岡女学院大学
- ・ 九州産業大学
- ・ 福岡大学
- ・ 福岡県立大学
- ・ 中村学園大学
- ・ 日本経済大学
- ・ 立命館アジア太平洋大学
- ・ 福岡工業大学
- ・ 第一薬科大学

【連携している専門学校】

- ・ 麻生公務員専門学校
- ・ 大原簿記情報専門学校
- ・ 西鉄国際ビジネスカレッジ
- ・ 麻生外国観光 & 製菓専門学校



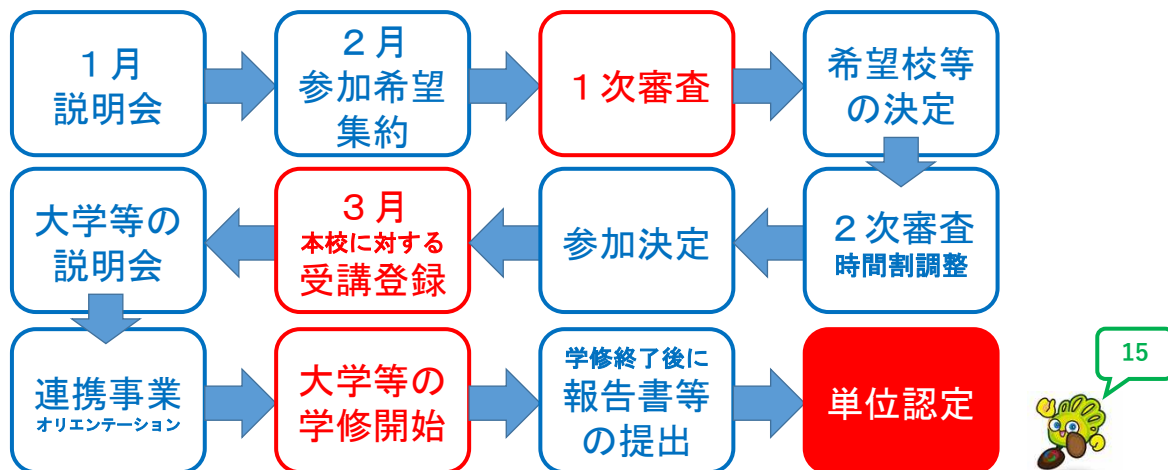
14

16



高大連携事業② 単位認定までの流れ

高大連携実行委員会 が募集、指導、手続き等を行う。

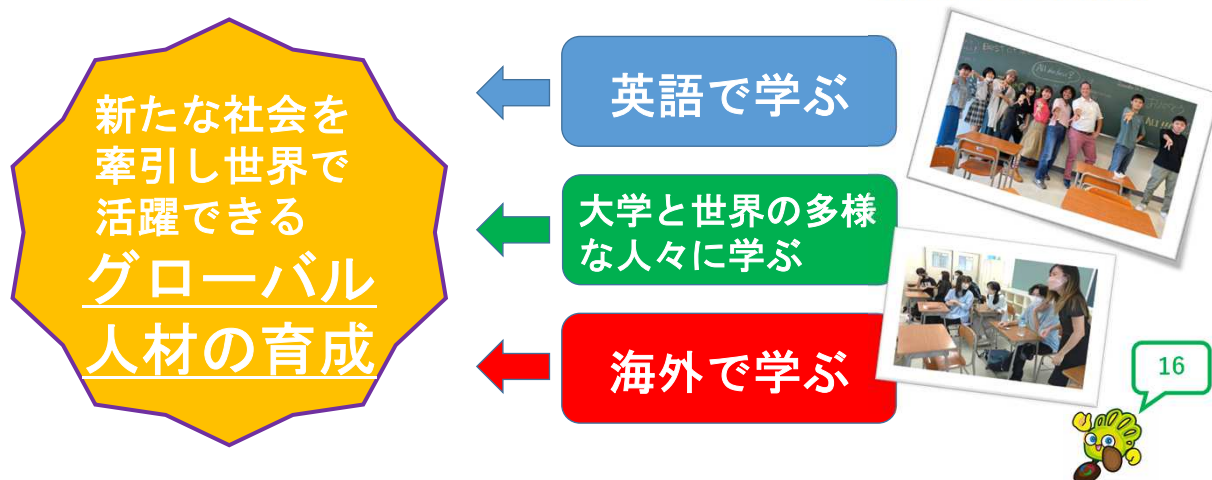


17



博多青松グローバル人材育成プログラム

大学等外部機関と積極的に連携した事業（平成27年度開講）



18



生徒が創る学校行事

球文大会



青松祭



多くの学校行事は、
エントリー制で実施



17



19



生徒が輝く部活動



【部活動】

剣道 陸上競技 合気道 卓球
バドミントン バレーボール
バスケットボール サッカー
ダンス ウインドアンサンブル
簿記 演劇 美術 イラスト
コーラス 情報科学 写真
クッキング 茶道 書道 放送
ハンドメイド

【同好会】

英会話 科学
自然環境 文芸
クイズ ●スポーツ

18



加入率20～30%

20



生徒が輝く部活動（全国大会でも活躍）

【令和5年度】

- ・ 剣道部（男子・女子）
 - ☆女子団体優勝（2年連続）
 - 個人戦も複数入賞
- ・ バドミントン部（女子）
- ・ バスケットボール部（女子）
- ・ 卓球部（男子・女子）
- ・ 陸上競技部（男子・女子）



21



きめ細かな修学支援体制（連携）

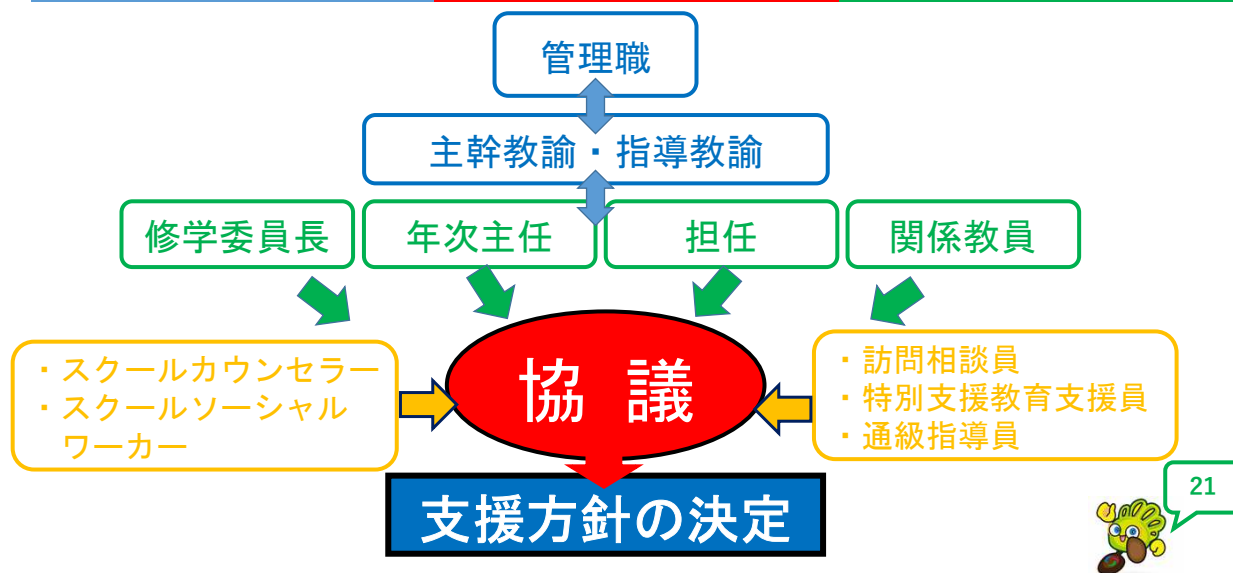
- ・ スクールカウンセラー
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ 訪問相談員
- ・ 特別支援教育支援員
- ・ 通級指導員



22



きめ細かな修学支援体制（校内体制）



23



進路状況

【令和4年度卒業生について】

- ・ 大学 48.4%（国公立 4.5%、私立 37.8%、短期大学 6.1%）
- ・ 専門学校 40.3%
- ・ 就職 11.3%

※未確定者を除く

【令和4年度の入試結果】

- （国公立）九州大学／九州工業大学／熊本大学／長崎大学
福岡県立大学／北九州市立大学／下関市立大学
（私立）福岡大学／西南学院大学／明治大学／法政大学
近畿大学／立命館大学／関西学院大学 など

など 22



24



定時制の課題（デメリット）

- 生徒へ直接連絡する機会が少ない。
- 多様な生徒に対し、十分に支援するための人員が不足している。
- 多様な生徒に対応できるカリキュラムの構築。
- 中学生やその保護者、中学校の教員も含め、本校を不登校生徒受け入れ校と位置付けている。

23



25



通信制課程
の
状況

26



多様な生徒が入学

令和5年度入学生

- ◇ 中学校卒業見込 44%
- ◇ 中学校既卒者 10%
- ◇ 転・編入学者 46%
- ◆ 定通併修性 20名



27



多様な生徒が在籍（十人十色）

令和5年5月1日現在

- ◇ **在籍者数 1652名**
男子：727名 / 女子：925名
- ◇ **年齢の幅 15歳～62歳**
平均年齢：18.5歳
- ◇ **有職者割合 全体の23%程度**



28



募集人数と入学者選抜

- ◇ 募集人員は
前期選抜で **400名**
後期選抜で **100名**と定めているが・・・
- ◇ 選抜に関しては **作文と面接** を実施している。

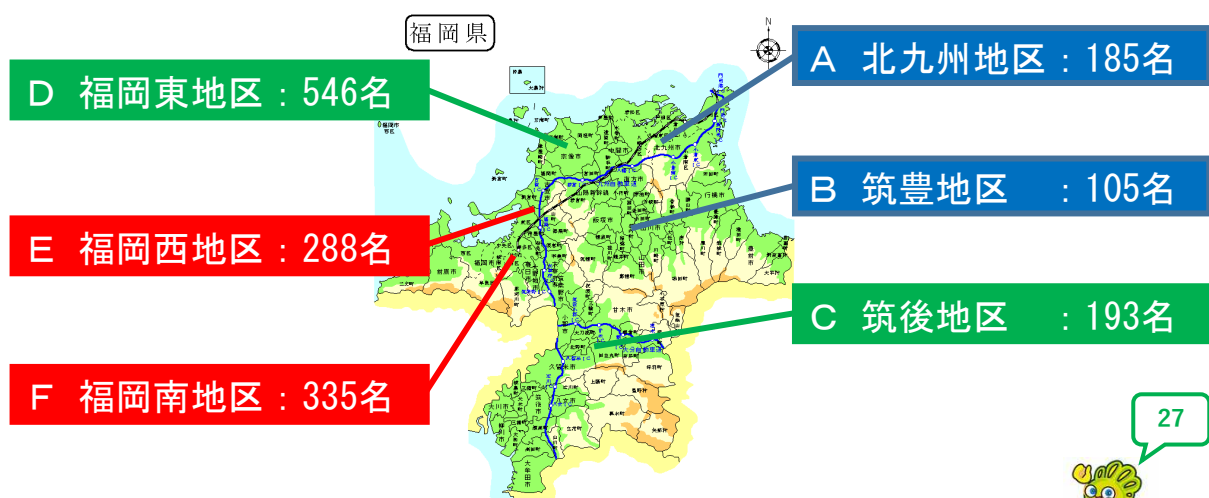
26



29



県内地区別在籍者数



27



30



通信制課程の教育

- ① レポート 自学自習でレポートを作成し添削指導を受ける。
● 「すべて提出」して「全て合格」が必要
- ② スクーリング 月2～3回程度、土曜日・日曜日に実施
● 科目ごとに定められた時間の出席が必要
- ③ テスト 前期は8月上旬、後期は1月下旬の土曜日・日曜日に実施
● 一定水準以上の成績が必要

28



31



生徒が創る学校行事

地区交流会



文化発表会



多くの学校行事は、
エントリー制で実施



大運動会



修学旅行

29



32



生徒が輝く部活動（全国大会でも活躍）

【運動部】 バスケットボール／バレーボール／バドミントン
サッカー／柔道／剣道

【文化部】 音楽／美術／イラスト／軽音楽／演劇

《全国大会出場》

- ◇ 女子剣道団体優勝（2年連続）
- ◇ 女子剣道個人3位
- ◇ 女子柔道個人
- ◇ 男子バスケットボール部
- ◇ バドミントン部



33



進路状況

【令和4年度卒業生について】

- ・ 大学 44%（国公立 1%、私立 37%、短期大学 6%）
- ・ 専門学校 43%
- ・ 就職 13%

※未確定者を除く

【平成29年度～令和4年度の入試結果】

- （国公立）九州大学／広島大学／佐賀大学／山口大学／神戸大学
北九州市立大学／京都市立芸術大学 など
- （私立）福岡大学／西南学院大学／早稲田大学／慶応義塾大学
同志社大学／立命館大学／近畿大学 など



34



通信制の課題（デメリット）

- 生徒支援体制の充実（人の配置が少ない）
- 講師の確保が困難（土曜・日曜勤務がネック）
- 通信制のシステムは、統合型校務支援システムに不向き（独自性が強い通信制にシステムが対応できない）
- 観点別評価の導入
- 1人1台パソコンの利用についてはほとんどできていない。

32



35



博多青松高校
公式キャラクター
「アオマツくん」

ご静聴
ありがとうございました。



福岡県立博多青松高等学校

36